

森林環境Ⅱ

里山の水辺の外来生物

日時：平成26年11月8日（土） 10:00～12:00

講師：矢部 隆（愛知学泉大学現代マネジメント学部 教授）

概況



里山の水辺の外来生物

講師 愛知学泉大学現代マネジメント学部教授 矢部 隆 氏

1 外来生物問題とは

外来生物とは、今まで生息していなかった地域に、自然状態では起こりえない手段によって移動し、そこに定着して繁殖するようになった生物。生態系を攪乱し、生物多様性に悪影響を与えるため、自然から取り除かなければならない。外来生物の駆除は、極めて困難。

2 カメが抱える外来生物問題

アカミミガメなど...在来カメ類との種の置換をおこす

ワニガメなど...生態系や食物連鎖の攪乱を引き起こす

3 東海地方で警戒すべき、水生外来生物(カメ以外)

ウシガエル、オオクチバス、ブルーギル、コイ、カムルチーなど全12種。

4 これから何をなすべきか

買って来た生き物は野外に放さない。飼えなくなったら、殺す。殺すのが嫌なら、買

わない。また、地域の生物多様性を守るためには、民・官・学が三位一体となり活動することが不可欠となる。